

議会だより

第 1 号

2016年5月2日発行
鳥取県境港市議会

平成28年度 当初予算	—————	P 2
一般質問	—————	P 4
議決結果	—————	P16
議長あいさつ・委員会構成	———	P17

平成28年度

当初予算

3月定例議会は、3月2日から24日までの23日間の会期で開かれました。まず、議会初日、平成27年度一般会計・特別会計の補正予算4議案について審議した結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

引き続き、平成28年度一般会計予算、特別会計予算など予算関連10議案、条例の制定・改正22議案、その他3議案を審議しました。その結果、議案はすべて原案のとおり可決されました。

境港市津波防災ハザードマップ
(平成24年5月作成)



津波ハザードマップ作成事業

改定された津波避難所を示した地図を作成・全戸配布し周知を図る

88万円



市民体育館耐震改修事業

市民体育館の来年度使用再開に向け、改修工事に着工

5億4,960万円



地域おこし協力隊推進事業

伯州綿の栽培・企画・販売に取り組む
地域おこし協力隊を3人から5人に

2,060万円



地域包括支援センター運営事業

28年10月から地域包括支援センターを市直営1カ所にして機能強化

6,118万円



子育て世代包括支援センター開設事業

妊娠期から子育て期のニーズにこたえる
総合的相談支援拠点を開設

660万円



水木しげるロード街なみ環境整備事業

地元主体の特色ある景観づくりを支援

462万円



生活困窮者家庭等学習支援事業

経済的に困難な家庭の児童(小学3~4年)を
対象に週1回学習教室を開催

101万円



児童クラブ運営事業

昨年度の誠道に続き境・外江の児童クラブで
対象を6年生まで拡大

5,020万円

市政を問う

11人が一般質問を行いました。

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、市民の声や自身の考え方をもとに、市長や教育委員会などの方針を問うものです。
境港市議会は持ち時間の範囲内であれば、質問の回数に制限はありません。

各議員は掲載した以外にも質問していますが、議会だよりでは、スペースの都合上、議員本人が質問と答弁を要約しています。

ページ	質問事項	質問議員
5	【代表質問】 ①平成28年度予算について ②ゴミの減量化について	米村 一三
6	【関連質問】 ①観光行政について ②はまる一歩バスについて	柘 康弘
7	【関連質問】 ①防災士について ②家具転倒防止対策について	浜田 佳尚
8	【関連質問】 ①障害者差別解消法の施行について ②ゴミ減量化に係る事業の推進について	景山 憲
9	【代表質問】 ①公共施設マネジメントについて ②「境港市総合戦略」について ③観光施策について ④国民健康保険について	佐名木知信
11	【関連質問】 ①水木しげるロードのリニューアルとその周辺整備について	荒井 秀行
11	【関連質問】 ①高齢者福祉の充実について	築谷 敏雄
12	①観光振興について ②主権者教育について ③温水プールの一時休止について	松本 熙
13	①寡婦控除規定の非婚のひとり親に対する差別解消策について ②市民の健康を守る国民健康保険事業について	安田 共子
14	①地域包括ケアシステムの構築について	足田 法行
15	①本市における「引きこもり」の社会復帰支援について ②災害時におけるペット同行避難について	田口 俊介

議事録は議会事務局やホームページで閲覧できます。

大型案件に対する 財政懸念は？

市長

基金と有利な 財源確保で対応

運営基盤の確立を目指してきた。踏み込んだ行財政改革の取り組みにより、投資事業の厳選による市債借入の抑制や将来予測される財政需要に備えて、基金の増加に努めてきた。現在では市債残高の大幅な縮減や基金残高の増加など、一定の

財政健全化がはかられたと考える。市民体育館の耐震改修や複合施設の建替え整備に伴う財政需要には、これまでの財政改革で生み出した基金の活用や国の補助金などの有利な財源の確保により、対応できると考えている。

【米村】市民会館に代わる複合施設の建設、市民体育館の耐震改修などの大型案件について、財政上の懸念はないと考えるが市長の見解は。
【市長】就任以来、自立持続可能な財政



会派 きょうどう
米村 二三 議員



複合施設として建替えが計画されている市民会館

家庭用生ゴミ処理機の 購入助成を！

市長

グループ別収集の 現行制度の拡大が有効

【米村】ゴミ減量化には、家庭用ゴミ処理機の購入助成が有効である。既に安来市、米子市では実施されている。本市でも制度導入を求めている。
【市長】家庭用ゴミ処理機でできた堆肥がゴミとして出されたり、電力使用料の増加などから、購入しても継続使用されず、処理機の更新が

行われないことなどが補助件数低下の要因となり、補助制度を廃止した近隣市もあると聞いている。当市ではゴミを分別して処理する方式に約400世帯の人の参加を得ており、収集した生ゴミを民間

の施設で安定的に堆肥化している。できた堆肥は希望者に無料で配布するなど無駄のない循環リサイクルシステムができている。現在の方式の拡大が最も効果があると考えている。



集積場に出された可燃ゴミ

ログイン画面の多言語化を！



産業
部長

国旗などでわかるように十分検討したい

【柁】本市が行っている水木しげるロード周辺でのWiFiを利用する際の方法はどの様になっているか。

【市長】利用規約に同意のうえログインして利用する。

【柁】利用規約は長すぎて最後まで読み込んでいくとタイムオーバーになりアクセスできなくなるがこのことについて見解は。

【産業部長】たしかに規約を読み込んでいくと長いが市に対し苦情はない。



水木しげるロード

【柁】ログイン画面は日本語と英語のみと認識しているがどうか。

【産業部長】現在は2カ国語しか対応していない。

【柁】駅前の「みなとさかい交流館」では鳥取県のWiFiも利用でき国旗の表示がされるなど分かりやすい多言語対応となっている。本市のWiFiも多言語対応にすべきと思うが見解は。

【産業部長】国旗などで分かるよう十分検討していきたい。

はまる一ぱバスの時刻表について

市長

不安や不便を感じないように
総合的に考える



はまる一ぱバス・現在の時刻表

【柁】改正された「はまる一ぱバス」の時刻表は市報とともに配布される世帯以外はどのようにして入手できるか。

【市長】市役所・公民館・大型商業施設・バス車内で入手可能である。

【柁】バス車内で入手した時刻表は両面コピーのものでコース図などの表示がないがなぜか。

【産業部長】日頃乗車される人は常連が多く時刻表を持っているので、時刻だけ必要な人のために備え付けているが、正規のものを備え付けるようにする。

【柁】時刻表はサイズが大きく家の壁に貼るには良いが携帯するには適さない。また観光客が記念に欲しいことがかなりあるらしい。以前にあったハンディサイズの時刻表を製作しては。

【市長】ご指摘はその通りでありそうした視点にたつて時刻表のありようを、市民や観光客が不安や不便を感じないように総合的に考えたい。

防災士が活動できる組織作りを

市長

自主防災組織の体制を整えたい

資格の取得の検討を行いたい。
【浜田】自主防災組織の中に防災士がいても、実際に1人だけでは啓発活動や訓練に結びつけにくい。資格取得者が意見交換できる環境作り、ともに活動できるようにする組織作りが必要ではないか。

【市長】市内47の自主防災組織に最低1人の防災士を配置する目標があるが、現在まだ19人と足りていない。
各自主防災組織に最低1人が配置される体制ができれば防災士同士の交流や研修の場ができるようになると思う。そこを目指して取り組んでいきたい。

【浜田】行政職員や公民館の関係者の防災士資格が必要ではないか。
【市長】公民館職員については、市の職員とあわせて防災士



会派 きょうどう
浜田 佳尚 議員



防災士の活躍が期待される

家具転倒対策は万全か？

市長

配慮が不十分だった再度対策を考えたい

【浜田】地震への備えとして、建物の耐震性の強化と家具転倒防止が重要。境港市は耐震性への取り組みに比べ家具転倒防止の取り組みが弱いと感じる。そもそも市役所・学校などの公共施設の家具転倒防止は万全か。

【市長】公共施設での家具転倒に対する配慮が不十分であった。反省し、各家庭での家具転倒防止とあわせて公共施設での家具転倒について再度対策を考えてみたい。
【浜田】内閣府の家具転倒防止についてのアンケート結果によると高齢者は「やりたくてもできない」「やり方がわか

らない」という声が多い。市内にも高齢者や障がい者などの要支援者は同様の悩みを持っているのではないかと。市としての対応は。
【市長】自分で対策をしたくてもできない世帯がある。そういったところまで対策が届いていないと思う。改めて、そういう視点をもって対策を考えたい。



家具を固定していない場合の地震実験

小型家電の回収ボックスの設置を！



会派 きょうどう
景山 憲 議員

市長

回収ボックスの設置を研究したい

【景山】使用済小型家電を資源として回収する事業をさらに充実させるために、市役所本庁舎、各公民館、清掃センターなどに回収ボックスを設置し市民への広報に役立てることが必要と考えるが見解は。

【市長】市町村において小型家電の資源化に努める必要があり、本市では、不燃ごみの中からピックアップして資源化する方法をとってきた。回収ボックスによる分別収集も小型家電の排出時では市民にとっても選択肢が広がるので望ましいと考える。ボックスに入る小型家電の種類や量及び回収の頻度などを見極め実施できるか研究したい。



使用済み小型家電回収ボックス設置状況

障害者差別解消法の施行にあたって

市長

積極的に広報していく

【景山】障害者差別解消法が平成28年4月1日から施行になる。法の趣旨について

理解を深めていただくことが必要であると考えるが、今後の広報の充実などの方針をうかがう。また、昨年度に策定した「境港市障がい児者プラン」に沿った事業実施により、さまざまな障がいのある人たちの自立促進に向けて確実な成果が期待されているが、市長の見解は。

【市長】この法律は、障がいによる理由とする差別を禁止し、障がいのある人への合理的配慮を求めるもの

であり、本市のホームページや市報に掲載する他、鳥取県が作成するパンフレット、DVDなどを活用し、関係機関と連携し繰り返し広報をしていく。策定した「境港市障がい児者プラン」では、PDC Aサイクルが義務づけられているので、「境港市障害福祉計画推進委員会」を設置し、必要に応じた修正を加え確実な成果に結び付けたい。



障害者差別解消法の理解を

公共施設の維持管理について

市長

公共施設等総合管理計画に従う



会派 港みらい 佐名木 知信 議員

【佐名木】2025年問題、公共施設の維持管理など、財政の危機が予想される。本市の基金の運用、あり方についての見解は。

【市長】既存の施設改修や新たな施設整備などさまざまな財

政需要が見込まれる。行財政改革で得た基金の活用や、有利な財源の確保に努めることで、安定した行財政運営に必要な、基金残高を維持できるものと考えている。

【佐名木】拡大から縮充への考え方をもち、全ての公共施設の統廃合も含めた本市の方針は。

【市長】公共施設等



耐震改修工事予定の市民体育館

総合管理計画は、人口減少などを考慮した施設の機能維持と、次世代に負担を残さないよう、効率的・効果的な施設の規模やあり方を検討するうえでの基礎である。統廃合については、各施設の状況に応じた、個別計画の策定など、慎重な議論を行い、施設の適正配置を検討する。

境港総合戦略をもとにした施策とは

市長

圏域の一体的発展を目指す 真の地方創生を

【佐名木】「境港総合戦略」をもとに、どのような施策を実行するのかうかがう。

【市長】産業・観光振興から子育て支援まで、さまざまな施策を総合的に取り組み、魅力と活気にあふれ、心豊かに安心して暮らせる境港市の官民連携を行い、中海・宍道湖・

大山圏域の各市と連携し、さまざまな施策を展開し、圏域の一体的発展を目指す「真の地方創生」に取り組み。

【佐名木】地域の原動力である地元中小企業・小規模事業者に対する活性化策として、本市独自の「中小企業振興基本条例」などの条例制定

【市長】現在、制定する考えはないが、設備投資や雇用への支援、事業活性化や経営安定化のための金融支援、新規創業者に対する初期投資への補助などに加え、県の施策も有効活用し、中小企業の振興、経済活性化に取り組みたい。

が望まれるが。



地方創生に向け本格的に始動する境港市

景観と特産品を活かした観光施策を

市長

景観を広く情報発信 水産加工品のブランド化

【佐名木】観光施策の重要なアイテム「景観」と「地元根付く特産品」を、今後、どのように見直し磨いていくのか。

【市長】自然景観を、ガイドマップやホームページ、マスコミや県内外のイベントなどで広く情報発信をしている。また、

高度衛生管理型漁港市場整備により、より安心安全な魚を提供できるようにすることから、更なるブランド化をめざし、水産業界と取り組む。

【佐名木】現在策定が止まっている「まちづくり総合プラン」を早く策定し、明確なビジョン「海に生きるまち境港の未来予想図」実現に



海岸通りの景観と賑わいづくり

向け、市民とともにこのまちを創造するまでは。

【市長】本年度は境港市総合戦略や美保飛行場周辺まちづくり計画の策定後、その内容を包含した「まちづくり総合プラン」を、市議会や総合計画審議会、パブリックコメントなどで幅広く意見を頂きながら、本年中の策定を目指したい。

国民健康保険税の推移予測と対策

市長

保険税引上げに関する検討は避けて通れない

【佐名木】国民健康保険税の推移予測と、将来の高齢者増加を考えた場合の対策についてうかがう。

【市長】一人あたりの療養費は、毎年度高い伸びを示している。被保険者数は年々減少しているが、医療機関を受診する機会が多くなると言われる前期高齢者の割合は大きく増加している。このような状況は当分続く



国保の窓口

ものと思われ、保険税の引き上げに関する検討は、今後も避けては通れないものと考えている。今後、生活習慣病対策や重症化予防などの保健事業を効率的に行い、さらにレセプト点検やジェネリック医薬品使用の促進などの医療費適正化を着実に実施していくことで、健康寿命の延伸と医療費削減につなげていきたい。

多額の公費を投入して 取り組む事業



会派 港みらい
荒井 秀行 議員

市長

事業を成し遂げ 将来にわたる賑わいをつくる

【荒井】水木しげるロードでは昨年11月、計画している道路形状をプランターなどで区切り、人や車の流れを調査した。その結果を分析し、リニューアルに繋げると説明があった。分析結果と、今後の日程についてうかがう。

【市長】分析結果については、3月中旬に公表し実施設計は道路本体と夜間照明や植栽など、道路付属部分の設計を夏ごろまでに完成し、年度内のできるだけ早い時期の着工を予定。

【荒井】このロードに集中して多額の公金を投入するが、その意味についてうかがう。

【市長】年間200万人の訪問者を維持していくことは、大変なことである。このリニューアル事業



水木しげるロードリニューアル完成イメージ

を成し遂げ、将来にわたる賑わいの基盤とすることが重要。

【荒井】市長はロードを含め境港の資源をどう生かすか。

【市長】地域資源を生かし何度でも訪れたい観光地づくりを進める。

地域包括支援センターについて

市長

運営体制を 市の直営型で1本化とする



会派 港みらい
築谷 敏雄 議員

【築谷】地域包括支援センターが市直営型1カ所になった経緯は。

【市長】包括ケア体制の推進を高齢者福祉計画、介護保険事業計画の中に位置づ



北地域包括支援センター

け、推進協議会や介護保険運営協議会で検討を重ねた結果、運営体制については、困難になりつつある専門職の確保や業務の効率化がはかられることなどから、現在委託方式を市による直営1本化とすることになった。

【築谷】1本化することにより地域との関係や体制の維持、高齢者へのサービスなど、今まで通りの

事業の移行や、新しい拠点の場所、職員の雇用体制は。

【市長】移行に際し、地域と築いてきた体制を維持し高齢者への支援が混乱なく行えるよう考えており、4月以降の事業実施についても、内容や方法の協議を進めている。拠点は市役所庁内に置き、雇用体制は、法人から出向という形態を考えている。

観光振興と滞在型観光の充実に期待

市長

3つの港と水産・観光を最大限に活かしたい



無所属 松本 熙 議員

【松本】ある講演会で「水木ロードは年間200万人が訪れる観光地だが、お金が落ちてない」と聞いた。地元が潤う仕



駅前ホテルで快適な宿泊を体験

掛けづくりが必要。国内外の観光客を呼び込む具体的な滞在型プランを提示し、観光振興の成果を上げるチャンスと考えるが市長の所見は。

【市長】駅前ホテル開業と水木ロードのリニューアルを機に滞在型への転換に力を注ぎたい。山陰の中央に位置し、機能的・地理的にも滞在型観光の拠点となる可能性を秘めている。

積極的に選挙に参加する力をつける

教育長

選管の投票箱を使用し投票体験ができた

【松本】中学生から政治に関心をもち、郷土で学び、将来を担う人材が育って欲しい。中高生を含めた成人前の青少年議会を提案する。郷土で働き、郷土を活かすため、人口問題や地域経済に関心をもち、積極的に選挙に参加する主権者教育が求められている。

【教育長】小学6年生の社会科や中学3年生の公民の学習の他、実際の選挙に近い投票体験ができた。

境港総合の生徒が傍聴に来たこともあり、青少年議会は高校と相談してみたい。

温水プール休止の現状はどのように

教育長

改修工事は利用者の安全確保を最優先にする



体育施設は市民の健康維持促進の源

【松本】温水プールの天井材落下が確認され、休止の措置が執られた。安全確保

を最優先に早急に工事に着手し、利用開始が早まるよう鋭意取り組まれない。また休止中の職員の適切な処遇も必要と考えるが、休業補償がしっかりとできるのか。

【教育長】プールの改修は安全確保を最優先に可能な限り急ぎたい。休館中の職員は施設の維持業務に専念し、指定管理契約の5名の職員給与は、現在の処遇を維持できるように努めていきたい。

非婚のひとり親に 寡婦控除適用を

市長

サービスを洗い出し 何が可能かつめてみたい

【安田】県内では鳥取市が保育料と市営住宅家賃に対するみ

【市長】本来こういった非婚の人への支援制度は国が行うべき。全国市長会で、婚姻歴のない人にも控除を適用するよう国に要望している。独自の支援に乗り出している自治体があるのは承知している。

【安田】限定的なものにせず、可能性のある事業、部署すべてでの検討を望む。

【市長】所得税額などにより負担が決定されている行政サービスをすべて洗い出し、どういうことが可能なのか、財政上どういふ影響が出るのかをこれから少し詰めてみたい。

【安田】税法上、寡婦控除制度は非婚のひとり親家庭には適用されない。そのため本市でも所得税や市県民税が基準となっている、さまざま



日本共産党境港市議団
安田 共子 議員



子育て支援の谷間がないように

まな行政サービスで不平等が生じている。現状についてどう考えるか。

なし適用を始めた。こういった取り組みについてどう思うか。

国保加入者の負担は 限界では？

市長

医療費増加の中 保険税引き上げやむなし

【安田】当面一般会計からの繰り入れで

【市長】負担感は大変重い。一般会計からの繰り入れで保険税の上昇を抑制してきたが、受益者以外の人にも負担をお願いすることであり、無制限に行えない。

【安田】28年度国保税引き上げを行うが、国保加入者の負担感をどう考えるか。

まかない、国保税は上げないでほしい。財政難の打開策として、保健師・看護師・栄養士など継続雇用、正職員増員で丁寧な相談や啓発活動。

【市長】そういう企業風土、環境づくりをお願いしたい。

【安田】保険証は期限が切れる前に、全加入者に郵送などで届けるべきではない。

【市民生活部長】滞納世帯に納付相談の機会を多く作るため、郵送まではしない。



市民の健康を守る国保運営を

地域包括構築の 総合事業実施内容は

市長

29年4月ボランティア
主体の事業を実施



公明党
足田 法行 議員

【足田】地域包括ケ
アシステムにおける
介護予防・日常生活
支援総合事業の実施
の中で、既存サービ
ス緩和型のA類型と
住民主体による生活

支援のB類型の実施
は、いつから始まる
のか。
【市長】平成29年4
月よりA類型B類型
同時に始める。
【福祉保健部長】A、
Bを包含する形で、
議論の幅が狭くなら
ないように進める。
【足田】推進のた
めのお金が使えら
れること、厳しいス
ケジュールが緩和さ
れる上、30年からの
介護計画の推計が
図れることから、
28年途



介護施設にて

中からA類型を始め
て、準備が必要な住
民主体による生活支
援のB類型を29年の
途中から始めては。
【福祉保健部長】地
域包括ケア推進協
議会、第6期介護保
険計画推進運営協
議会の総意で決ま
ったことと、土台
がしっかりした地
域包括ケアを築
くため、28年度
から住民の機運
を高め、29年度
から確実に着
手したい。

総合事業の 目的・取り組みを問う

市長

成功させるとの思いで
市全体で取り組む

【足田】総合事業は、
地域づくりであり、
人材戦略が目的。地
域に生活支援を広げ
ることで、事業所の
介護職は資格がなく
てもできる買い物な
どの生活支援から解
放され、本来の仕事
で単価の高い中重度
介護者の身体介護に
専念でき、介護報酬
が上がり、経営改善
になり、ひいては賃



高齢者 福祉の集い

金上昇、介護職の離
職防止になる。お互
いの助け合いを地
域に作るべきでは。
【市長】ともかく地
域包括ケアシステム
の構築に尽きる。行
政のみならず、地域
住民の皆様、医療関
係者のご助力をお願
いし、行政としても
しっかり取り組む。
【足田】高齢者福祉
だけではなく、い

れ障がい者、子育て
支援もこの地域の仕
組みの中に将来含ま
れ、成功させなければ
ならない。1つの
課だけでなく市全体
でこの部署も協
力して取り組んで
いきたいが。
【市長】指摘ごも
つとも、そういった
気持ちで取り組む。

引きこもり支援を地域福祉の視点で

市長

行政と地域と住民で体制作りに取り組む

【田口】現在、引きこもりの長期化とその家族の高齢化で生活困窮の可能性が大きくなってきている。本市における、引きこもりの実態調査や予防的対応、社会復帰



公明党 田口 俊介 議員

【市長】本市での相談件数は平成26年度19件、27年度2月現在で10件。予防活動については「心の応援団を広げる会」が中心となり、支援のネットワークを広げる取り組みを行っている。社会復帰の支援については市内の障害福祉サービス事業所へ委託の他、県の開設する支援センター

の取り組みは。

【市長】引きこもりという小さな視点でなく、地域福祉という大きな視点で捉えていくことが大事で、本来の意味での「地域包括ケアシステム」の構築が必要であり、行政の本気度が問われるが。【市長】行政も地域も住民もあらゆる問題に知恵を出し、汗を流していく体制作りに取り組みたい。



「鳥取青年ピアサポート」パンフレット

ペットの同行避難 具体的な対策は

市長

市報の防災情報連載の中で周知・啓発

【田口】災害時のペットの同行避難について、本市の防災計画への位置づけは。また、同行可能な避難所の選定や設備の確保、ペットフードなどの備蓄など、具体的な対策の現況は。さらに、飼い主に対してのペットの災害対策への周知・啓発はどのようになされているかがうかがう。【市長】市の防災計画において、市は避

難所での飼育場所の確保や受け入れ場所の整備に努めることとなっている。同行可能な避難先の選定は行っていないが、県が必要に応じ仮設収容施設を整備することとなっている。飼い主への周知・啓発については、これまで正しい飼育や所

有者明示、予防接種などを啓発しており、今後はこれに加え、市報4月号から連載を計画中の「身近な防災への対策」の中で、ペットの同行避難についても項を設けわかりやすい形でしっかりとお知らせをしていきたい。



仙台市での同行避難訓練

平成28年3月定例会 議決結果

◆人 事

案 件	議決結果
人権擁護委員候補者の推薦について	推薦に同意 (全会一致)
監査委員の選任について	同 意 (全会一致)

◆議 案

案 件	議決結果
平成27年度境港市一般会計補正予算 (第5号)	原案可決 (賛成多数)
平成27年度境港市国民健康保険費特別会計補正予算 (第3号)	原案可決 (全会一致)
平成27年度境港市下水道事業費特別会計補正予算 (第4号)	原案可決 (全会一致)
平成27年度境港市介護保険費特別会計補正予算 (第2号)	原案可決 (全会一致)
平成27年度境港市一般会計補正予算 (第6号)	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市一般会計予算	原案可決 (賛成多数)
平成28年度境港市国民健康保険費特別会計予算	原案可決 (賛成多数)
平成28年度境港市駐車場費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市下水道事業費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市高齢者住宅整備資金貸付事業費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市介護保険費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市土地画整理費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市市場事業費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
平成28年度境港市後期高齢者医療費特別会計予算	原案可決 (全会一致)
境港市職員の勤務時間、休憩時間、休日及び休暇に関する条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市職員の退職管理に関する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市一般職の任期付職員の採用等に関する条例制定について	原案可決 (賛成多数)
境港市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市事務分掌条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市行政不服審査会条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市行政不服審査法関係手数料の徴収に関する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市情報公開条例等の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
公聴会参加者等実費弁償支給条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (賛成多数)
境港市消防団条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市原子力防災対策基金条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市児童クラブ条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市水産加工汚水処理場設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市水産加工汚水処理場整備基金条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市渡漁港管理条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市消費生活センター条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例制定について	原案可決 (賛成多数)
境港市手数料条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
境港市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
建設工事の委託に関する基本協定の変更について	原案可決 (全会一致)
鳥取県自治体ICT共同化広域連携協約の締結に関する協議について	原案可決 (全会一致)
公有水面埋立てに関する意見について	原案可決 (全会一致)
平成27年度境港市一般会計補正予算 (第7号)	原案可決 (全会一致)

◆陳 情

案 件	議決結果
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書提出に関する陳情	採択 意見書提出 (全会一致)
「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	採択 意見書提出 (全会一致)
公契約条例の制定による適正賃金・労働条件の確保と地域経済の振興を求める陳情	採択 市長送付 (全会一致)

◆委員会提出議案

案 件	議決結果
境港市議会議政活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決 (全会一致)
「鳥根原子力発電所に係る鳥取県民の安全確保等に関する協定」の改定を求める決議	原案可決 (全会一致)
精神障がい者の交通運賃割引制度の適用を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)
地域からの経済好循環の実現に向け最低賃金の改善と中小企業支援策の拡充を求める意見書の提出について	原案可決 (全会一致)

議長あいさつ

このたび市議会だより再発刊の運びとなり大変喜ばしく感じているところでございます。

境港市議会では平成25年12月に境港市議会基本条例を制定し、翌年12月に政治倫理条例を制定したところです。

現在わが境港市議会は、この条例に沿って活動を展開し、具体的に議会だよりの再発刊をはじめ、市民と議会の懇談会、各種団体との懇談会、そして境港市議会フェイスブックのたちあげなど市民に開かれた議会をめざし改革を推進しているところです。

また、本会議における質問方法も一問一答方式としわかりやすい形式をとり、議員間の討論を一層高めるため委員会の日数も増やしました。

今後も皆様が、安全で安心して住める街づくりと境港市の発展のため、全議員一丸となり活動していく所存であります。皆様におかれましてもご理解とご協力をお願い申し上げます。



【副議長】

荒井 秀行 議員



【議長】

岡空 研二 議員

市議会議長・副議長
各委員会構成
が決まりました

常任委員会・議会運営委員会 委員名簿

委員会名	委員長	副委員長	委員		
総務民教委員会	景山 憲	米村 一三	平松 謙治 安田 共子	荒井 秀行 足田 法行	佐名木知信 松本 熙
経済厚生委員会	田口 俊介	浜田 佳尚	岡空 研二 築谷 敏雄	柗 康弘 定岡 敏行	永井 章
議会運営委員会	柗 康弘	築谷 敏雄	米村 一三 定岡 敏行	景山 憲 田口 俊介	佐名木知信 松本 熙



議会だよりの愛称を募集します！

議会だよりの再刊に伴い、より多くの市民のみなさんに手にとって読んでいただける議会だよりをめざし全紙面のリニューアルを行いました。

境港市議会は、よりいっそう市民のみなさんの身近な存在でありたいと考えています。

そこで、装いも新たに再刊となった「境港市議会だより」の愛称を募集します。みなさんの思いを込めた素敵な名前をお待ちしています。

応募方法

様式は問いません。一人につき何点でも応募できます。はがき・封書・メール・FAXなどに議会だよりの愛称、愛称への思い、住所、氏名、年齢、電話番号を書いて送付してください。

応募先

境港市議会事務局

住所：〒684-8501 境港市上道町3000番地

電話：0859-47-1097 FAX：0859-47-1110

メール：gikai@city.sakaiminato.lg.jp

応募期限

平成28年6月20日（月）必着

審査・発表

議会だより編集部会で審査決定します。

採用者へ通知し、市議会だより、境港市議会ホームページに掲載します。

その他

採用された愛称は後日デザインを施し、平成28年11月発行の議会だよりから使用する予定です。

採用された愛称は境港市議会へ帰属することとなります。

みなさんからいただいた個人情報他は他の目的には一切使用しません。

また主催者管理とし第三者に提供することは絶対にいたしません。

あしがき

市民のみなさんの要望にお応えし、境港市議会だよりが再刊されました。

新人議員4人で構成された「議会だより編集部会」が中心となり議会の活動状況をお伝えしていきます。

市民のみなさんに市政と議会に対する理解を深めていただくために、「読みやすく、分かりやすい」議会だよりを目指したいと思えます。

そのためにも、ぜひご意見や、お考えをお寄せ下さい。どうぞよろしくお願いたします。

(浜田)

【発行責任者】

議長 岡空 研二

【議会だより編集部会】

部会長 浜田 佳尚

築谷 敏雄

足田 法行

安田 共子

